

鷹山公だより

令和5年10月号

米沢警察署管内の刑法犯・交通事故発生状況

	刑法犯		交通事故	
	認知(件)	検挙(件)	発生(件)	死者数
米沢市	252	157	174	1
川西町	15	9	22	0

令和5年9月末現在

秋の交通安全県民運動

○ 秋の交通安全県民運動出発式

9月21日、秋の交通安全県民運動のスタートに合わせ、川西町役場において、米沢・川西地区の出発式を開催しました。

米沢・川西の両市町、警察、交通安全団体等の関係者107名が参加し、川西町長、米沢地区交通安全協会長、米沢警察署長が夕暮れ時の交通事故防止等と呼び掛け、交通安全意識の高揚を図りました。その後、パトカーと青パト30台が管内一円の巡回広報に出動し、ドライバーや歩行者に対し県民運動の周知と交通事故防止について広く呼び掛けました。



○ 広域交通安全ふれあいキャンペーン

9月20日、秋の交通安全県民運動に先立ち、県境に接する米沢・福島両市の交通安全関係団体と共に、道の駅米沢及び道の駅ふくしまにおいて、本運動の周知と交通安全と呼び掛けました。

本キャンペーンは、米沢・福島両市の交通安全関係団体が秋の交通安全運動に合わせて毎年交互に実施していましたが、コロナ禍により令和2年から活動を休止しており、今年は4年ぶりに福島市をメイン会場に行ったほか、米沢側でも同日同時刻に実施しました。

福島側では、啓発チラシと「事故なし」にかけた「梨」と、米沢から持ち込んだ「交通安全米沢牛カルパス」を配布しながら、利用客に「事故もなしでお願いします。」と交通安全と呼び掛けました。



福島会場



米沢会場

○ 高齢者の夜の交通安全教室

9月29日、米沢ドライビングスクールの御協力により、高齢者の方から夜間における反射材の効果や**蒸発現象**等を体験してもらい、夜間の危険性を確認していただき、交通事故防止を図ることを目的として、夜の交通安全教室を実施しました。

教室には老人クラブ会員や地区高齢者のほか高齢者交通安全指導員等約30名が参加し、参加した高齢者指導員からは「対向車がいると蒸発現象が起きて、夜光反射材も役に立たないときがあることが分かった。反射材の効果を通信しないことを指導するよう努めます。」との感想がありました。



教官による安全講話

蒸発現象とは？

夜間、対向車とすれ違う際に、自車と対向車のヘッドライトの光が交錯する部分にいる歩行者等がドライバーから見えなくなり、あたかも“蒸発したかのように歩行者等の姿が見えなくなる”現象のことです。

これは、ヘッドライトの光が強まることでドライバーの目がまぶしさを感じ、光が当たっている部分にあるものが見えにくくなるのが原因と言われています。

蒸発現象が発生すると、服装が明るい色であったり、反射材を着けたりしている場合でも見えなくなることがあります。雨の降っていない夜間や昼間のトンネル出口などでも起こり得る現象です。雨天の際には路面にも光が乱反射し、より見えにくくなります。水はけの良くない道路では、特に注意が必要です。



蒸発現象を体験中

令和5年度第2回警察署協議会を開催



9月26日、令和5年度第2回警察署協議会を開催し、会議に先立ち、警察本部通信指令室の視察を行いました。

協議では、桃井署長が管内の治安情勢を説明し、「刑法犯認知件数は前年より増加しており、特に無施錠の自転車盗が増加傾向にある。交通死亡事故は県内では増加しているが、管内ではほぼ同数で推移している。」旨を述べました。委員からは、通信指令に関する質疑やこの「鷹山公だより」を広く知ってもらうようにとの御意見をいただきました。

大峠トンネルで防災訓練

9月7日、米沢市と福島県喜多方市を結ぶ国道121号大峠トンネルにおいて、防災訓練を実施しました。訓練は、山形県側のトンネル入口付近で乗用車同士が正面衝突する交通事故により車両が炎上し、負傷者が車内に閉じ込められているとの想定で、山形、福島両県の道路管理者や警察、消防などが参加し実施しました。

コロナ禍により3年ぶりの開催となりましたが、トンネル内での災害発生時における迅速かつ的確な事案処理要領を確認するとともに、関係機関の連携・協力体制の構築が図られました。



交通規制訓練



事故車両からの負傷者救助訓練



閉会式

児童・生徒の力作審査

9月11日、米沢警察署において、米沢市、川西町防犯協会主催による防犯ポスターと防犯標語の審査会を開催しました。管内の小中高校生が応募したポスター139点、標語123点から、美術家の沖津信也さんと桃井米沢警察署長ら6名の審査員が各部門の優秀作品を選びました。

最優秀作品と優秀作品は、県防犯協会連合会、県青少年育成県民会議等が共催する「防犯広報作品コンクール」に出品されました。



中学校における自転車盗難防止活動

少年補導員事業の一環として、管内の3つの中学校において、児童養護施設や学童保育の児童、中学校の生徒が作成したチラシを同封したティッシュを登校した生徒に配布し、自転車の施錠や交通安全を呼び掛ける広報活動を実施しました。また、無施錠の自転車には「盗難防止広報カード」を掛け、防犯指導を実施しました。

少年補導員たちは、生徒と挨拶を交わしながら自転車の施錠を呼び掛け、「この活動が生徒の防犯意識向上につながってほしい。」と話していました。



写真左から

9月8日 米沢市立第五中学校

9月12日 川西町立川西中学校

9月13日 米沢市立第四中学校

防犯交通米沢少年隊活動の紹介！

9月19日、栽培中の舘山リンゴに、特殊詐欺被害防止や各学校で表現したい思いを表した漢字のシールの貼り付け作業を行いました。その後、愛宕コミュニティセンターにおいて、10月の全国地域安全運動出発式に向け、隊員たちがデザインを考案した防犯ポスターの発表等について話し合いました。

文字入りのリンゴは、収穫後に管内各金融機関の店頭で展示される予定です。

シール貼り付け作業中!!



特殊詐欺被害未然防止で署長感謝状を贈呈！



9月13日贈呈 □ローソン米沢相生町店 オーナー 加藤幸弘さん
店員 高橋柊羽さん

8月22日、70代の女性が来店し、プリペイドカードの入金方法を聞いてきたことに高橋さんが疑問を抱き、詳細を確認したところ、「4億円に当選しました。手数料として1万5千円払ったら4億円が貴方のものになります」等のメールを受信し、プリペイドカードを買ったものの、入金方法がわからない旨を説明したため、詐欺の可能性が高いと判断し、加藤オーナーを通じて警察に通報し、詐欺被害を未然に防止しました。

山形県少年警察大学生ボランティア委嘱状交付式

9月6日、山形県少年警察大学生ボランティアとして新たに山形大学工学部の学生1名に委嘱状を交付しました。今後は、防犯交通米沢少年隊と共に農業体験や広報活動などを行い、少年と触れ合いながら健全育成に向けた活動を行っていただきます。



山形県少年警察大学生ボランティアとは？

警察では、少年の非行・被害防止を図るため、関係機関、団体、地域社会と協力して、学習支援や各種スポーツ活動などによる立ち直り支援を行っています。特に大学生ボランティアは、少年と年齢が近く、これらの活動を通じて信頼関係が構築され、少年の立ち直りに重要な役割を果たしています。

新しい仲間が増えました！



9月26日に山形県警察学校初任科短期課程を卒業した警察官3名が米沢警察署に赴任し、署長に着任申告を行いました。

3名は、それぞれ駅前交番、大門交番、西部交番に配置となり、地域警察官として住民の安全安心のために活動してまいります！

よろしくお願ひします！！

カモンくん



お知らせ

米沢警察署のホームページはこちらから！

各種情報 統計資料、各種手続き等を掲載

防犯活動や交通安全に関する統計資料等をたくさん掲載しています。

運転免許、落とし物、米沢警察署協議会の情報も掲載しています。

毎月更新 鷹山公だよりのバックナンバーも御覧ください



米沢警察署

〒992-0051 米沢市城北二丁目3-19

TEL: 0238-26-0110 / FAX: 24-5219

